

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

	ページ
1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
(1) 学生の確保の見通し	2
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となるデータの概要	2
ウ 学生納付金の設定の考え方	4
エ 定員割れを生じている既存学部・学科における学生確保の方策	5
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	5
2. 人材需要の動向等社会の要請	
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	5
(2) 上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	6

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

(1) 学生確保の見通し

ア 定員充足の見込み

西九州大学生生活支援科学研究科看護学専攻(修士課程)(以下、「本看護学専攻」という。)の入学定員については、近隣の競合大学院の入学状況等【資料1】及び本学の教員組織、校地、校舎等の施設・設備等を総合的に勘案し、長期かつ安定的に学生が確保できる適正な規模として5名に設定した。

学生確保の見通しについては、①本看護学専攻が設置された場合に入学する可能性が高い佐賀県内の看護師養成校(大学を除く。)に従事する教員、②本学の主な実習病院の現役の看護職、及び③本学看護学部看護学科の在学生(1~3年生)を対象とした3つの「大学院に関するニーズ調査」【資料2-1.2-2.2-3】を実施した。

以上の資料等から、進学(受験・入学)が見込めるため、長期的かつ安定的に学生の確保ができると判断する。その根拠を事項のイで、資料1・2-1.2-2.2-3に沿って説明する。

【資料1】 近隣の競合大学院(修士課程)の入学状況等

【資料2-1】「大学院に関するニーズ調査」結果①(対象:佐賀県内の看護専門学校の教員)

【資料2-2】「大学院に関するニーズ調査」結果②(対象:佐賀県内の主な実習病院の看護職)

【資料2-3】「大学院に関するニーズ調査」結果③(対象:本学看護学部学生)

イ 定員充足の根拠となるデータの概要

○資料1 近隣の競合大学院(修士課程)の入学状況等

近隣の看護学研究科ないし他研究科看護学専攻(計11校)について、過去3年間(平成30年度~令和2年度)の入学状況等をまとめた。入学定員は5~15名の幅で各設定され、半数以上(6校+α)が10名以下で設定、この6校の内訳は5名と6名設定が各2校、8名と10名が各1校となっている。

また、この3年間で新規設置1校増、この1校を含め2校により総数増(102→107→111名)、これに対し定員実数(入学者数)は、平成30年度を起点にすれば増傾向(64→78→67名)と捉えられる。なお、この調査で入学定員を充足しているのは、平成30年度は3校、令和元年度は2校、令和2年度は1校の状況である。

本看護学専攻の入学定員については、近隣の競合大学院のうち本学(専任14名配置予定)と同規模の教員体制や入学定員(一桁設定)の他大学院状況、及び教育の質担保を維持しつつも教員の過度な負担とならない教員体制(専任教員1人当たり1~2名のに学生指導)を鑑み、また、修了者の中長期的な就職を見込める人数を勘案して5名に設定した。

○資料2-1 「大学院に関するニーズ調査」結果①

佐賀県内の看護師養成校(13ヶ所)*1に従事する教員164名を対象とした調査結果①(有効回収率65.8%/有効回答数108名)の設問7.1では、本看護学専攻への進学を希望「はい」が6名(5.6%)、「いずれは進学したい」が16名(14.8%)であり、両項目を合わせる

と 22 名 (20.4%) であった。修了済 17 名を除くと 24.1%となりほぼ 4 人 1 人は進学を希望している。

設問 5-2) 進学希望の理由で多かった回答は、「教育力・研究力を高めたい」が 18 名 (46.2%)。設問 5-3) 進学した場合の学びたいことの問いに「自分の興味ある看護分野をさらに深めたい」及び「看護教育方法を学びたい」が同数の 21 名 (33.9%) であった。

本看護学専攻の目的が指導的看護実践者と看護教育者の育成であり、佐賀県内の看護師養成校に従事する教員の希望理由と合致したものになっている。なお、設問 7-2) 進学希望をしない主な理由 (複数回答) としては、「家庭の事情 (育児・介護等) で進学が困難」が 30 名 (25.0%)、「2 年間の休職はできない」が 27 名 (22.5%)、「経済的に厳しい」が 12 名 (10.0%) など、進学の意向がないわけではなく条件や環境が整うことで進学に対し可能性があることが示された。

*1) 佐賀県医療センター好生館看護学院, 嬉野医療センター附属看護学校, 医療福祉専門学校緑生館 (総合看護科), 医療福祉専門学校緑生館 (専攻看護学科), アカデミー看護専門学校, 武雄看護リハビリテーション学校 (看護学科), 佐賀市医師会立看護専門学校, 唐津東松浦医師会立唐津看護専門学校, 武雄杵島地区医師会立武雄看護学校, 伊万里看護学校, 鳥栖三養基医師会立看護高等専修学校, 佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校, 鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

○資料 2-2 「大学院に関するニーズ調査」結果②

本学の主な実習病院 (実習病院 13 ケ所) *2) の現役の看護職 2600 人を対象とした調査結果② (回収率 66.7%/有効回答数 1735 名) の設問 7.1) では、本看護学専攻への進学を希望「はい」が 26 名 (1.5%)、「いずれは進学したい」が 95 名 (5.5%) であり、両項目を合わせると 121 名 (6.9%) であった。つまり、3 桁の数の意向があることが分かった。設問 5-2) 進学希望の理由で多かったのは「現在の看護職としての能力をさらに向上させたい」が 88 名 (56.8%)、「教育力・研究力を高めたい」が 41 名 (26.5%)、設問 5-3) 進学した場合の学びたいことの問いに「自分の興味ある看護分野をさらに深めたい」が 185 名 (44.7%)、「管理 (組織、人事、危機)・人材育成について学びたい」が 70 名 (16.9%) であった。

本看護学専攻の目的が指導的看護実践者と看護教育者の育成であり、佐賀県内の地域の病院に従事する現職看護職の希望理由と合致したものになっている。なお、設問 7-2) 進学希望をしない主な理由 (複数回答) としては、「2 年間の休職はできない」が 650 名 (25.8%)、「家庭の事情 (育児・介護等で進学が困難) が 496 名 (19.7%)、「経済的に厳しい」が 342 名 (13.5%) など、進学の意向がないわけではなく条件や環境が整うことで進学に対し可能性があることが示された。

*2) 佐賀大学医学部附属病院, (独) 国立病院肥前精神医療センター, (独) 国立病院機構嬉野医療センター, (独) 国立病院機構東佐賀病院, 地域医療機能推進機構佐賀中部病院, 日本赤十字社唐津赤十字病院, 小城市民病院, 恩賜財団済生会唐津病院, 佐賀記念病院, ひらまつ病院, 高木病院, 織田病院, 佐賀県医療センター好生館

○資料 2-3 「大学院に関するニーズ調査」結果③

本看護学部を対象とした調査結果③(回収率 64.7%/回答者数 171 名)の設問 2-1 では、本看護学専攻を進学希望「はい」が 13 名(7.6%)、「将来は検討したい」が 68(39.8%)であり、両項目を合わせると 81 名(47.4%)であった。つまり多くの在校生に進学意志があることがわかり、この結果で、実際に本看護学専攻に進学したいという学生が十分に見込まれることから、長期的・安定的に確保できるものと考えられる。また、設問 3-1)進学を希望する理由で最も多かったのは、「看護職としての能力を向上させたい」が 61 名(50.8%)。設問 3-2)進学されるとしたらどのようなことを学びたいですかの問いに「自分の興味ある看護分野をさらに深めたい」が 64 名(54.2%)、「管理(組織、人事、危機)・人材育成について学びたい」が 14 名(11.2%)であった。設問 4-1)進学を希望しない主な理由(複数回答)としては、「経済的に厳しい」が 45 名(25.9%)、「大学院のイメージがつかない」が 44 名(25.9%)であった。うちイメージに関しては、大学院(院生)が身近でないことが影響していると考えられる。

今回の大学院ニーズ調査結果①②③により、進学希望をしない主な理由は、休職期間の問題、家庭の事情、経済的な理由であった。こうした問題に対応するべく、昼夜開講、土曜日開講の制度や、長期履修制度があり、またインターネット等の遠隔授業の活用で在職のまま修学できるように便宜を図ることが可能なため、これらの課題を持つ者にとって解消となり、進学も十分期待できることが分かった。また、本看護学専攻の進学希望者は、既に教員と実習病院に勤務する看護職を合わせて 32 名、いずれ進学したい者が 111 名存在することから、現在入学定員 5 名としている人数を鑑みると、大学院の学生確保の見通しについては今後複数年にわたり見込める数である。

本看護学専攻は、病院や地域の臨地における諸問題を解決するための研究マインドを有する指導的看護実践者と看護教育者を育成する場であり、学生となる可能性がある者は、教員、病院職員をはじめとした臨地場で働いている、もしくは働く予定のある者である。また本看護学専攻を設置後、必要に応じて奨学金制度などの経済的な支援、職場における進学への理解、対応といった環境整備を行うことで、さらなる進学希望者を確保することが可能である。

ウ 学生納付金の設定の考え方

本看護学専攻の初年度納付金は、81 万円とする、その内訳は、入学金 20 万円(入学時のみ)、授業料 61 万円(年額)

この金額は、教育の質を維持しつつも経済的な負担が大きくなるように配慮し、現行の本学の既設研究科と同額であり、併せて、近隣県の同系統の大学院等(10 校)の学生納付金【資料 3】も参考に設定した。

なお、本看護学専攻の納付金額は、同系統の大学院等と比較して低額な設定になっている。

【資料 3】近隣の同系統の競合大学院(修士課程)の学生納付金状況

エ 定員割れを生じている既存学部・学科における学生確保の方策

本学の健康福祉学部社会福祉学科においては、平成 29～令和 2 年度の 4 年間の平均定員充足率は 0.62 に落ち込み、その対策に注力している状況である。志願者減少の背景として、近年の福祉現場に対する偏った報道によって福祉の仕事は「3K（きつい、汚い、危険）」というイメージが定着したことで若者の福祉離れが進んだことが大きい。社会福祉系学科の志願者減少は全国の大学で進み、募集定員の削減あるいは募集停止に踏み切った大学も多い。とくに、本学の位置する九州圏では、社会福祉士養成校協会に加盟している養成校が計 32 校もあり、少ない志願者を大学間で奪い合う状況となっている。定員確保に向けた対策として、(1) 文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に採択された「認知症予防推進プログラム」(SAPS) による「認知症支援」の導入などの教育活動の充実 (2) 演習や臨床場面を取り入れたプログラムを導入したオープンキャンパスやリニューアルした大学HPとSNSを用いた広報活動の強化 (3) 佐賀県社会福祉協議会や佐賀県高等学校教育研究会福祉部会との共催事業を進めるなど地域との連携強化 (4) 多様な福祉分野の第一線で活躍している 5 千名を超える卒業生の人的資産を生かした就職支援 (5) 海外からの短期・長期の留学生受入れの強化、などを強力に進めている。少子高齢化、核家族化、生活スタイルや価値観の多様化により、福祉に対する社会的ニーズは高まっている。本学社会福祉学科は、保健・医療・福祉関連の他学科と連携し、これまでのイメージを変えるような魅力ある社会福祉が学べる学部学科の再構成を検討し、定員充足を目指している。

(2) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

本看護学専攻は学ぶ意欲のある学生を確保するために、既に以下のような施策を講じている。

- 1) 生活支援科学研究科看護学専攻の開設を大学ホームページへ掲載・入試広報の拡充
- 2) 生活支援科学研究科看護学専攻が設置された場合に入学する可能性が高い対象（佐賀県内の看護専門学校教員、佐賀県内の主な実習病院の看護職、本学看護学部学生）への「大学院に関するニーズ調査①②③」を実施した。
- 3) 臨地実習依頼先に対する生活支援科学研究科看護学専攻の開設の紹介
- 4) 看護師養成校に対する生活支援科学研究科看護学専攻の開設の紹介
- 5) 佐賀県看護協会への生活支援科学研究科看護学専攻の開設の紹介
- 6) 本学学生への生活支援科学研究科看護学専攻の開設の紹介
- 7) 本学ホームページによる生活支援科学研究科看護学専攻の開設の紹介
- 8) 本学ホームページによるオープンキャンパス開催案内

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本看護学専攻では、地域社会に生活する人々の健康課題を支援できる専門性の高い、高度な知識や技術を身に着けた看護実践能力を持つ指導的看護実践者及び教育研究に必要な基礎

的能力を有する看護教育者を養成することを目的とする。また、看護学に関する研究を進めることができ、関連職種の専門性を理解し、リーダーシップと調整力を発揮し、指導的役割を果たすことができることを教育理念・目標と定める

(2) 上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠
－看護学の専門知識と教育力をもつ看護実践者と看護教育者の養成－

佐賀県内では本学を含め看護系大学が2校（定員150名）、看護養成校は13校（定員490名内2年課程は5校25名定員）、高校一貫校（定員70名）で看護師の養成を行っている。これらの6割は医師会立の養成校において看護人材を養成している。このうち卒業生の6割5分が県内に就職する。一方、看護専門学校の教員は教員養成講習会を修了していない教員も多く、県は平成14年、平成28年（定員30名）で講習会を開催したが、それ以降の開催はなく、隣県や国の機関に依存している状況である。つまり、看護師養成における教員の確保が課題となっている。県内の看護系大学2校のうち看護系修士課程を設置しているのは1大学のみである。この大学では先進健康科学研究科総合看護科学コースとして設置されているが、60単位の取得が修了要件となっているため、ハードルが高く、院生は隣接する医学部附属病院からのみとなっているのが現状である。現在の県内の保健・医療・福祉の課題に取り組む看護人材の育成、国や県の政策提言で求められている看護人材の養成に資する看護実践者・教育者の確保が喫緊の課題であり、新たな大学院研究科（専攻）の設置が求められる。

－地域に根差す中核病院の看護を牽引する看護実践者の養成－

佐賀県は、医療機関数、病床数など医療資源は全国平均より上であり、人口10万人当たりの医療機関数は（H26）は病院12.9施設（全国6.7施設）有床診療数21.2施設（全国6.6施設）である。今後の県の医療計画では1.病床の機能分化・連携、2.地域包括ケアシステムの構築 3.医療従事者の確保・養成とされており、特に3.医療従事者の確保・養成では、平成29年以降において看護師養成所の安定的な運営に向けた支援として、○理学療法士、作業療法士、訪問看護師など、需要に応じた人材確保、○看護職員などの有資格者の医療現場への復帰に対する支援、○看護職員等のキャリアアップの支援策が挙げられている。

県民の安全・安心な医療の提供とともに地域に根差した生活ができるために、病院や診療所、地域の介護老人施設等の看護サービスが提供される場における課題を理解し、看護実践の改善・改革のマネジメント、実践できる看護職が必要である。

－多職種連携理論に裏付けされた看護実践者の養成－

佐賀県の医療計画では、二次医療圏（救急医療を含む一般的な入院治療が完結するように設定した区域）を基本とし、施策体系の基本構想の地域包括ケアシステムの構築、医療・介護等連携・ネットワークの構築では、○在宅医療・介護支援センター、地域包括支援センターの機能連携強化 ○地域の関係機関、宅老所やボランティアも含めたネットワークの充実 ○市町の在宅医療・介護連携推進事業の着実な実施 ○退院調整ルールなど医療・介護の連

携を促進するルール・関係づくり、さらに、在宅医療の基本整備においては○市町・群市医師会単位での連携拠点、グループ化の定着○介護施設等における「看取りの推進」○訪問看護の必要量の確保○訪問歯科診療、口腔ケア、訪問薬剤管理指導の普及○在宅医療や地域包括ケアシステムに対する県民の理解促進が取り組み方針として計画されている。

この佐賀県がめざす医療構築・介護等連携・ネットワークの構築こそ、本看護学専攻が目指す看護の専門性・多職種連携の教育が最も成果を示すことができる内容といえる。つまり、先に述べた本学は多様な専門領域を持つ大学であり、看護学に関連する生活支援研究科として、栄養学専攻、臨床心理学専攻、リハビリテーション専攻、子ども学専攻を設置しており、多職種連携の基本理念である多領域の専門性を学び、連携の方法を実践的に学修ができる環境にあることは大きな強みといえる。さらに本学は地域の希望により設置された看護系大学であることから、県や市などの行政、医療関係機関と密接な連携を築きやすい。また、本学部教員は地域において実践を積み上げた熟練の教員が多いことは、関係機関との連携を築くには好都合である。これらの学習環境下で現在の課題を改善し、さらには求められる多職種連携の構築・実践ができる看護実践者を養成することが可能である

これまで述べてきたような我が国と県の情勢を鑑み、本学が地域大学として保健・医・福祉・教育など多様な視点と方法をもつ専門職を養成してきた経緯と経験をふまえ、生活を支援する活動の中核を担うべき看護専門職の大学院における教育・研究活動の必要性がますます高まってきたといえる。このような社会の要請に応えるために、本看護学専攻を設置することは急務である。

資料目次

- ・ 資料 1 : 近隣の競合大学院（修士課程）の入学状況等
- ・ 資料 2-1 : 「大学院に関するニーズ調査」結果①（看護師養成校の教員対象）
- ・ 資料 2-2 : 「大学院に関するニーズ調査」結果②（実習病院の現役の看護職対象）
- ・ 資料 2-3 : 「大学院に関するニーズ調査」結果③（本学看護学科在学生対象）
- ・ 資料 3 : 近隣の同系統の大学院等の学生納付金状況

【資料1】

近隣の競合大学院修士課程の入学状況

大学院名 (開設年度)	研究科名	専攻名	課程	所在地	教員組織	定員数			収容定員数			定員実数 (1年)			定足率		
						平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
福岡県立大学大学院 (' 07)	看護学研究科 (3コース)	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：8 准教授：10 講師：12	12	12	12	24	24	24	12	13	8	1.00	1.08	0.67
長崎県立大学大学院 (' 03) ※2020定員は専攻全体の数	人間健康科学研究科 (3コース)	看護学専攻	修士課程	長崎	教授：7 准教授：3 講師：3 助教：1	8	8	※12	16	16	16	3	7	3	0.38	0.88	-
熊本県立大学大学院 (' 06) ※1 研究科全体の定員数 ※2 看護管理コースの実数	アドミニストレーション研究科 (4コース)	看護管理コース	修士課程	熊本	教授：3 准教授：1	※120	※120	※120	-	-	-	※24	※25	※24	-	-	-
聖マリア学院大学大学院 (' 10)	看護学研究科 (3コース)	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：11 准教授：7 講師：7 助教：5	12	12	12	24	24	24	5	5	6	0.42	0.42	0.50
福岡大学大学院 (' 11)	医学研究科	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：7 准教授：9 講師：5	6	6	6	12	12	12	9	8	2	1.50	1.33	0.33
産業医科大学大学院 (' 14)	医学研究科	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：7 准教授：7 講師：7	5	5	5	10	10	10	5	4	3	1.00	0.80	0.60
久留米大学大学院 (' 16) ※助産師資格コースを含む定員数、実数	医学研究科 (2専攻)	看護学専攻 (3コース)	修士課程	福岡	教授：8 准教授：7 講師：9	※15	※15	※15	※30	※30	※30	※10	※18	※20	-	-	-
純真学園大学大学院 (' 18)	保健医療学研究科	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：13 准教授：3 講師：6	6	6	6	12	12	12	5	5	5	0.83	0.83	0.83
帝京大学大学院 (' 19)	保健学研究科	看護学専攻	修士課程	福岡	教授：6 准教授：2 講師：6	-	5	5	-	5	10	-	1	2	-	0.20	0.40
日本赤十字九州国際看護大学大学院 (' 07)	看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程	福岡	教授：13 准教授：7 講師：0	10	10	10	20	20	20	8	9	10	0.80	0.90	1.00
九州看護福祉大学大学院 (' 03)	看護福祉学研究科	看護学専攻	修士課程	熊本	教授：7 准教授：4 講師：0	8	8	8	16	16	16	3	3	4	0.38	0.38	0.50

出典：看護学校便覧2020 2020年6月医学書院販売・PR課調べ
 出典：看護学校便覧2019 2019年6月医学書院販売・PR課調べ
 出典：看護学校便覧2018 2018年6月医学書院販売・PR課調べ

西九州大学看護学部大学院に関するニーズ調査のお願い

2021. 1. 18

日ごろから看護学生の教育に関して、いろいろと御配慮・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

西九州大学看護学部は平成30年(2018)に、小城市に開学し、佐賀県唯一の私学の看護大学として、地域で活躍できる看護師・保健師の養成及び質の高い看護を目指した研究活動に取り組んでいるところです。

このたび、さらなる看護研究機能の発展・強化を目的とし、令和4年度の大学院開設を目指し準備中です。つきましては、大学院設置に関して佐賀県内の看護専門学校の先生方、実習ご協力施設の看護職の方々等に、西九州大学看護学部大学院に関するアンケートを実施することとなりました。研修前後の時間に大変恐縮に存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、御回答は数量化して処理し、大学院設置に関する基礎資料とし、目的以外には使用いたしません。

西九州大学看護学部

1. あなたの御所属はどちらですか、該当する□にチェックしてください。

- 病院・診療所 保健所・保健センター・行政機関 看護専門学校 看護大学
 訪問看護ステーション 介護保険サービス関係 その他()

2. あなたの現在の御所属における職種はどちらですか、該当する□にすべてにチェックしてください。

- 保健師 助産師 看護師 教員 その他()

3. あなたの看護職及び教育者としての経験年数についてお尋ねします。

1) 看護職(保健師・助産師・看護師)としての経験年数に該当する□にチェックしてください。

- 0～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

2) 看護に関する専任の教育者としての経験年数に該当する□にチェックしてください。

- 0～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

4. あなたの現在の所属の職位について、該当する□にチェックしてください。(複数回答可)

- 管理職(看護部長・副部长、課長以上等) 係長級(師長・主任・係長級)
 訪問看護ステーション管理者 教務主任・教育主事
 常勤職員 非常勤職員 その他()

5. 全員の方にお尋ねいたします。

1) 大学院の進学についてお考えですか。

- 修士課程(博士課程前期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済
 博士課程(博士課程後期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済

2) 上記設問で、進学希望に「はい」とご回答された方におたずねします。

希望される理由で次のうち最も当てはまるものにチェックしてください。(複数回答可)

- 大学の教員を目指したい 現在の看護職としての能力をさらに向上させたい
 教育力・研究力を高めたい さらに勉強し博士を目指したい 管理職を目指したい
 その他()

裏面に続く ⇒

3) もし、進学されるとしたらどのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

該当するものにチェックしてください。

管理(組織、人事、危機)・人材育成について学びたい

地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい

自分の興味ある看護分野をさらに深めたい

看護教育方法について学びたい

看護研究方法について学びたい

その他(具体的にご記入ください:)

6. 全員の方におたずねします。もし大学院に進学されるとしたら、どのような授業形態等であれば進学できると思われますか。該当する□にチェックしてください。また、その他については具体的に記入ください。

1) 開講時期および方法について(複数回答可)

夏季等の集中講義 週末の講義 平日の講義

eラーニング等による遠隔授業 その他()

2) 時間について

昼間のみ 夜間のみ 昼間と夜間 その他()

3) 曜日について

週のうち2~3日 土日のみ 平日と土日の組合せ その他()

4) eラーニング等の遠隔授業について

希望する 一部実施して欲しい 希望しない その他()

5) 入学試験について

推薦選抜 社会人選抜 一般入試 その他()

6) 授業料免除や奨学金制度について

必ず利用する 条件により利用を検討する 利用しない

7) 履修期間について(修士課程の場合、原則2年ですが初めから延長を希望することができます)

2年間 3年間 4年間 その他()

7. 西九州大学に大学院修士課程が設置された場合についておたずねします。

1) 進学を希望されますか、該当する□にチェックしてください。

修士課程(博士課程前期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済

2) 「いいえ」の方におたずねします。「いいえ」の理由に該当するものはどれですか。(複数回答可)

2年間の休職はできない 家庭の事情(育児中や介護中)で進学が困難 復職が不安

現状で満足している 関西・関東など他の地域で学びたい 経済的に厳しい

他の大学を選ぶ セミナーなどで対応可能 その他()

8. 大学院に関するご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。

西九州大学看護学部大学院に関するニーズ調査 ①

対 象：佐賀県内の看護専門学校教員

全回答数：112件、有効回答数：108件

1. あなたの御所属はどちらですか？

看護専門学校

2. あなたの現在の御所属における職種はどちらですか？

教員

3. あなたの看護職及び教育者としての経験年数

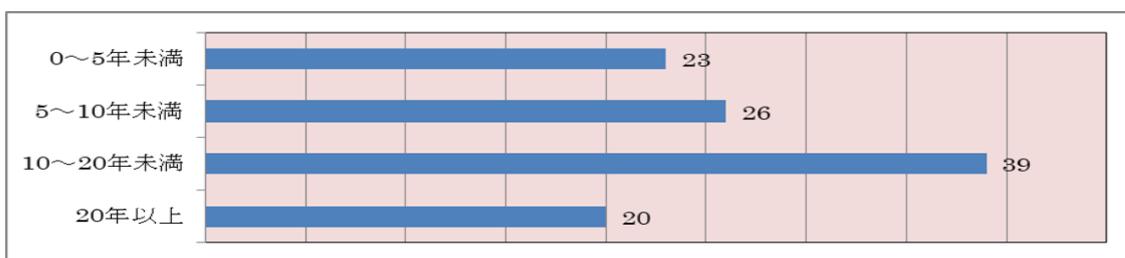
1) 看護職（保健師・助産師・看護師）としての経験年数

項目	回答数	割合
0～5年未満	1	0.9%
5～10年未満	30	27.8%
10～20年未満	43	39.8%
20年以上	34	31.5%



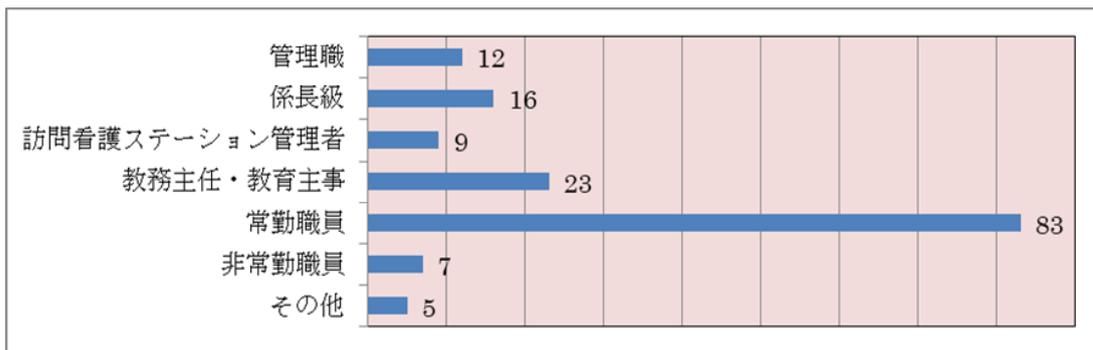
2) 看護に関する専任の教育者としての経験年数

項目	回答数	割合
0～5年未満	23	21.3%
5～10年未満	26	24.1%
10～20年未満	39	36.1%
20年以上	20	18.5%



4. あなたの現在の所属の職位（複数回答可）

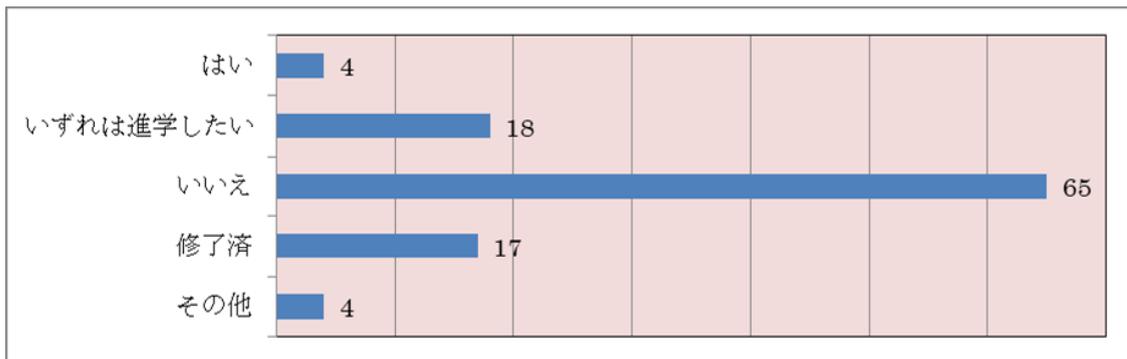
項目	回答数	割合
管理職	12	7.7%
係長級	16	10.3%
訪問看護ステーション管理者	9	5.8%
教務主任・教育主事	23	14.8%
常勤職員	83	53.5%
非常勤職員	7	4.5%
その他	5	3.2%



5-1. 大学院の進学についてお考えですか。

修士課程(博士課程前期)

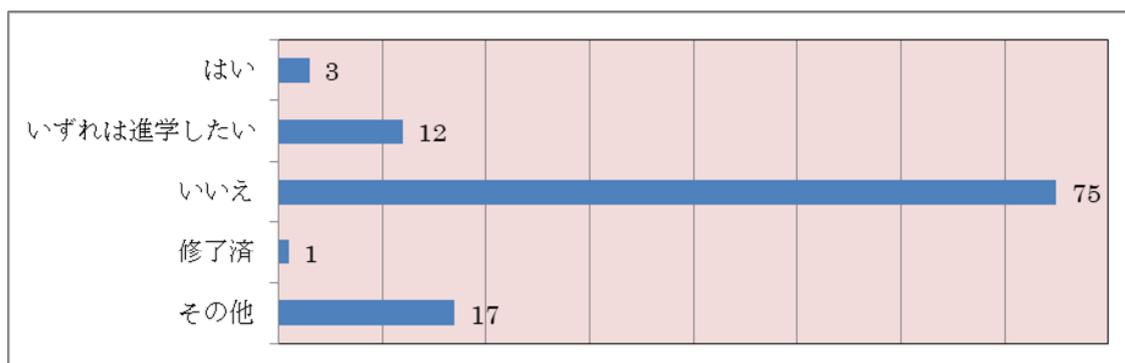
項目	回答数	割合
はい	4	3.7%
いずれは進学したい	18	16.7%
いいえ	65	60.2%
修了済	17	15.7%
その他	4	3.7%



博士課程(博士課程後期)

項目	回答数	割合
はい	3	2.8%
いずれは進学したい	12	11.1%
いいえ	75	69.4%
修了済	1	0.9%
その他	17	15.7%

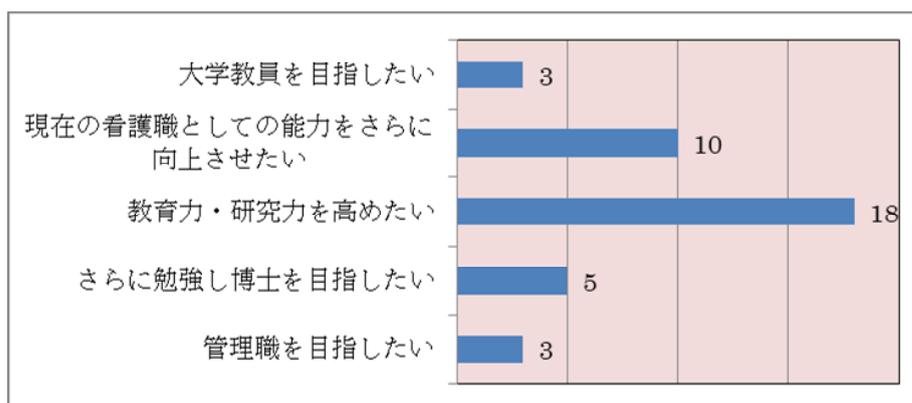
※その他の中で進学中が1件



2) 上記設問で、進学希望に「はい」とご回答された方の希望理由(複数回答可)

回答数 : 39

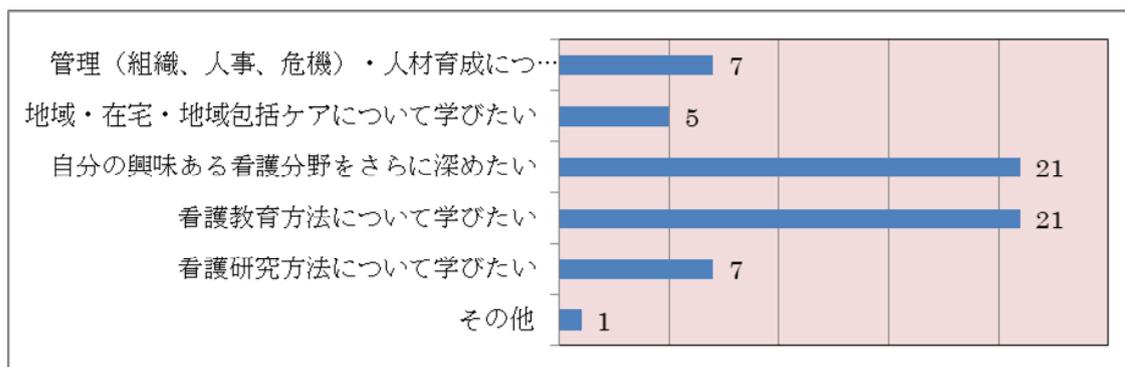
項目	回答数	割合
大学教員を目指したい	3	7.7%
現在の看護職としての能力をさらに向上させたい	10	25.6%
教育力・研究力を高めたい	18	46.2%
さらに勉強し博士を目指したい	5	12.8%
管理職を目指したい	3	7.7%



3) 進学した場合の学びたいこと（複数回答可）

回答数：62

項目	回答数	割合
管理（組織、人事、危機）・人材育成について学びたい	7	11.3%
地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい	5	8.1%
自分の興味ある看護分野をさらに深めたい	21	33.9%
看護教育方法について学びたい	21	33.9%
看護研究方法について学びたい	7	11.3%
その他	1	1.6%



6. 大学院の授業形態

1) 開講時期および方法について（複数回答可）

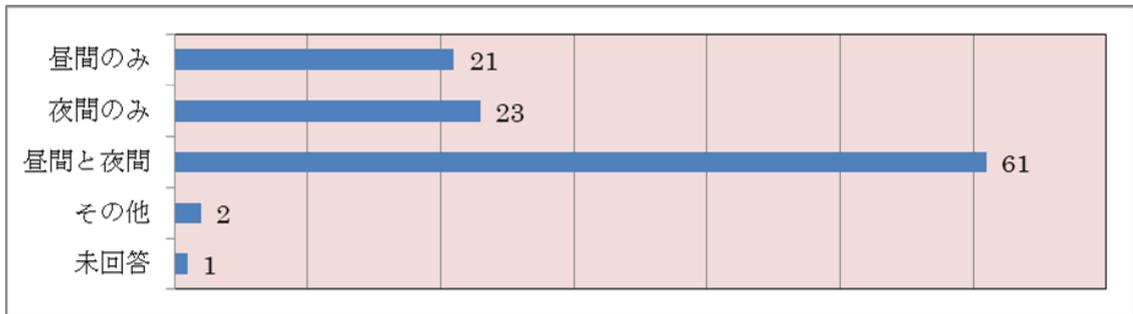
回答数：204

項目	回答数	割合
夏季等の集中講義	33	16.2%
週末の講義	72	35.3%
平日の講義	14	6.9%
eラーニング等による遠隔授業	85	41.7%



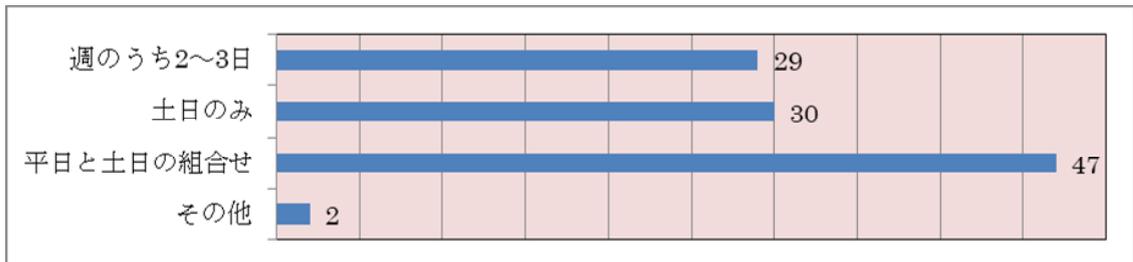
2) 時間について

項目	回答数	割合
昼間のみ	21	19.4%
夜間のみ	23	21.3%
昼間と夜間	61	56.5%
その他	1	0.9%



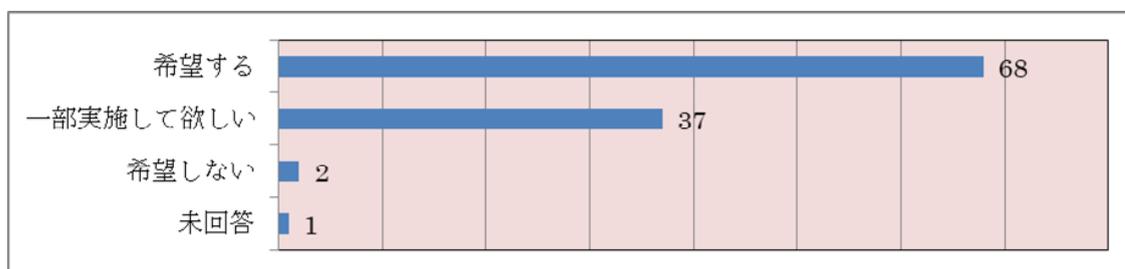
3) 曜日について

項目	回答数	割合
週のうち2~3日	29	26.9%
土日のみ	30	27.8%
平日と土日の組合せ	47	43.5%
その他	2	1.9%



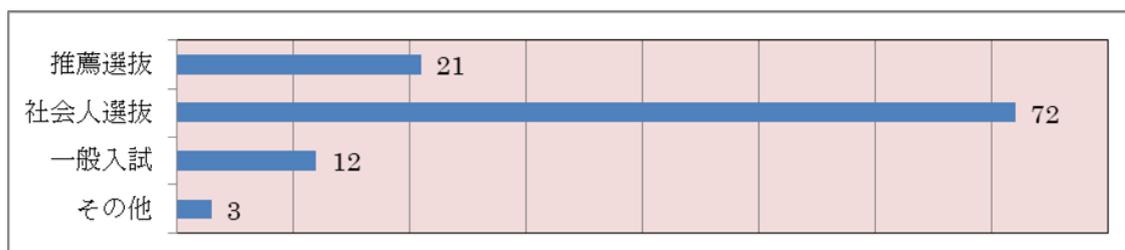
4) eラーニング等の遠隔授業について

項目	回答数	割合
希望する	68	63.0%
一部実施して欲しい	37	34.3%
希望しない	2	1.9%
未回答	1	0.9%



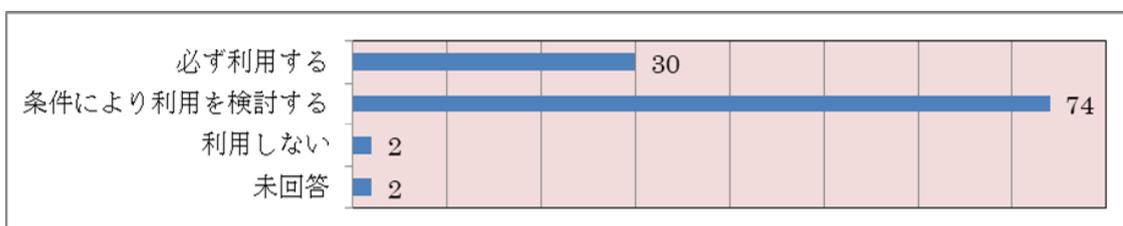
5) 入学試験について

項目	回答数	割合
推薦選抜	21	19.4%
社会人選抜	72	66.7%
一般入試	12	11.1%
その他	3	2.8%



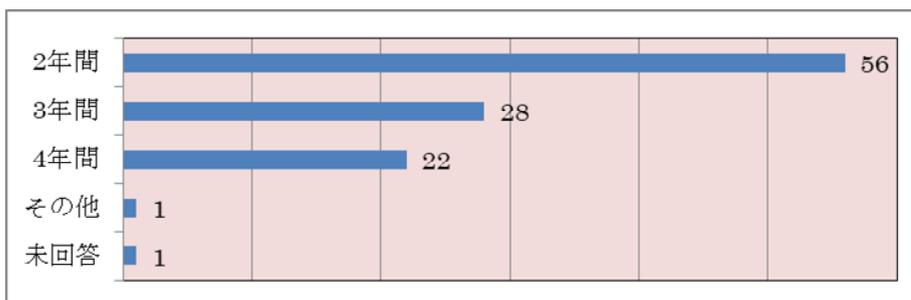
6) 授業料免除や奨学金制度について

項目	回答数	割合
必ず利用する	30	27.8%
条件により利用を検討する	74	68.5%
利用しない	2	1.9%
未回答	2	1.9%



7) 履修期間について（修士課程の場合、原則2年ですが初めから延長を希望することができます）

項目	回答数	割合
2年間	56	51.9%
3年間	28	25.9%
4年間	22	20.4%
その他	1	0.9%
未回答	1	0.9%



7. 西九州大学に大学院修士課程が設置された場合

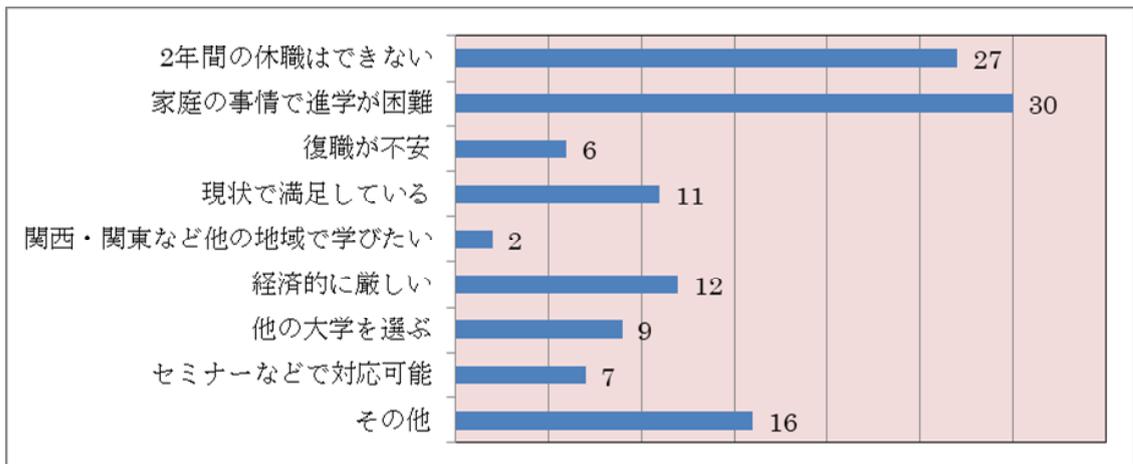
1) 進学を希望

項目	回答数	割合
はい	6	5.6%
いずれは進学したい	16	14.8%
いいえ	69	63.9%
修了済	17	15.7%



2) 上記「いいえ」の選択理由（複数回答可）

項目	回答数	割合
2年間の休職はできない	27	22.5%
家庭の事情で進学が困難	30	25.0%
復職が不安	6	5.0%
現状で満足している	11	9.2%
関西・関東など他の地域で学びたい	2	1.7%
経済的に厳しい	12	10.0%
他の大学を選ぶ	9	7.5%
セミナーなどで対応可能	7	5.8%
その他	16	13.3%



西九州大学看護学部大学院に関するニーズ調査のお願い

2021. 1. 18

日ごろから看護学生の教育に関して、いろいろと御配慮・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

西九州大学看護学部は平成30年(2018)に、小城市に開学し、佐賀県唯一の私学の看護大学として、地域で活躍できる看護師・保健師の養成及び質の高い看護を目指した研究活動に取り組んでいるところです。

このたび、さらなる看護研究機能の発展・強化を目的とし、令和4年度の大学院開設を目指し準備中です。つきましては、大学院設置に関して佐賀県内の看護専門学校の先生方、実習ご協力施設の看護職の方々等に、西九州大学看護学部大学院に関するアンケートを実施することとなりました。研修前後の時間に大変恐縮に存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、御回答は数量化して処理し、大学院設置に関する基礎資料とし、目的以外には使用いたしません。

西九州大学看護学部

1. あなたの御所属はどちらですか、該当する□にチェックしてください。

- 病院・診療所 保健所・保健センター・行政機関 看護専門学校 看護大学
 訪問看護ステーション 介護保険サービス関係 その他()

2. あなたの現在の御所属における職種はどちらですか、該当する□にすべてにチェックしてください。

- 保健師 助産師 看護師 教員 その他()

3. あなたの看護職及び教育者としての経験年数についてお尋ねします。

1) 看護職(保健師・助産師・看護師)としての経験年数に該当する□にチェックしてください。

- 0～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

2) 看護に関する専任の教育者としての経験年数に該当する□にチェックしてください。

- 0～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

4. あなたの現在の所属の職位について、該当する□にチェックしてください。(複数回答可)

- 管理職(看護部長・副部長、課長以上等) 係長級(師長・主任・係長級)
 訪問看護ステーション管理者 教務主任・教育主事
 常勤職員 非常勤職員 その他()

5. 全員の方にお尋ねいたします。

1) 大学院の進学についてお考えですか。

- 修士課程(博士課程前期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済
 博士課程(博士課程後期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済

2) 上記設問で、進学希望に「はい」とご回答された方におたずねします。

希望される理由で次のうち最も当てはまるものにチェックしてください。(複数回答可)

- 大学の教員を目指したい 現在の看護職としての能力をさらに向上させたい
 教育力・研究力を高めたい さらに勉強し博士を目指したい 管理職を目指したい
 その他()

裏面に続く ⇒

3) もし、進学されるとしたらどのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

該当するものにチェックしてください。

管理(組織、人事、危機)・人材育成について学びたい

地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい

自分の興味ある看護分野をさらに深めたい

看護教育方法について学びたい

看護研究方法について学びたい

その他(具体的にご記入ください: _____)

6. 全員の方におたずねします。もし大学院に進学されるとしたら、どのような授業形態等であれば進学できると思われますか。該当する□にチェックしてください。また、その他については具体的に記入ください。

1) 開講時期および方法について(複数回答可)

夏季等の集中講義 週末の講義 平日の講義

eラーニング等による遠隔授業 その他(_____)

2) 時間について

昼間のみ 夜間のみ 昼間と夜間 その他(_____)

3) 曜日について

週のうち2~3日 土日のみ 平日と土日の組合せ その他(_____)

4) eラーニング等の遠隔授業について

希望する 一部実施して欲しい 希望しない その他(_____)

5) 入学試験について

推薦選抜 社会人選抜 一般入試 その他(_____)

6) 授業料免除や奨学金制度について

必ず利用する 条件により利用を検討する 利用しない

7) 履修期間について(修士課程の場合、原則2年ですが初めから延長を希望することができます)

2年間 3年間 4年間 その他(_____)

7. 西九州大学に大学院修士課程が設置された場合についておたずねします。

1) 進学を希望されますか、該当する□にチェックしてください。

修士課程(博士課程前期) はい いいえ いずれは進学したい 修了済

2) 「いいえ」の方におたずねします。「いいえ」の理由に該当するものはどれですか。(複数回答可)

2年間の休職はできない 家庭の事情(育児中や介護中)で進学が困難 復職が不安

現状で満足している 関西・関東など他の地域で学びたい 経済的に厳しい

他の大学を選ぶ セミナーなどで対応可能 その他(_____)

8. 大学院に関するご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。

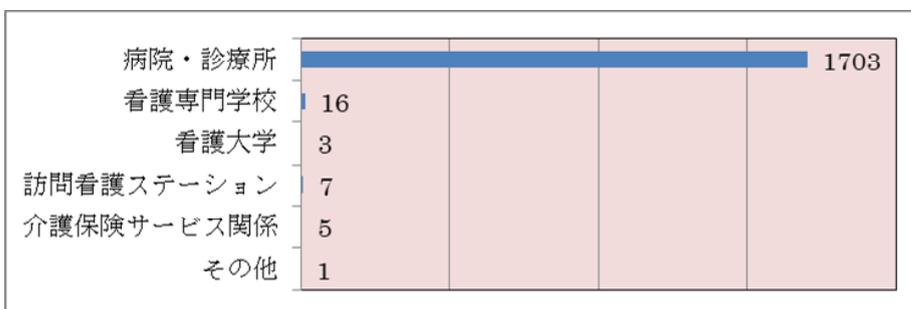
西九州大学看護学部大学院に関するニーズ調査 ②

対 象：佐賀県内の主な実習病院の看護職

全回答数：2203件、有効回答数：1735件

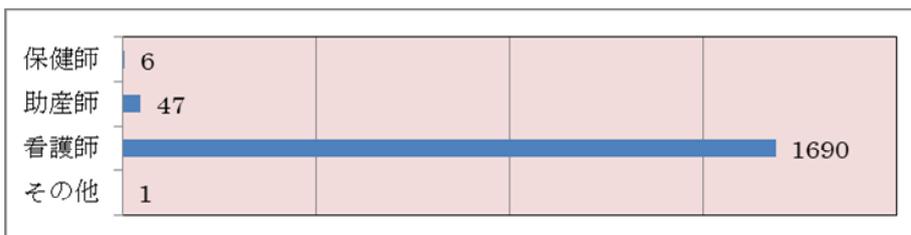
1. あなたの御所属はどちらですか？

項目	回答数	割合
病院・診療所	1703	98.2%
看護専門学校	16	0.9%
看護大学	3	0.2%
訪問看護ステーション	7	0.4%
介護保険サービス関係	5	0.3%
その他	1	0.1%



2. あなたの現在の御所属における職種はどちらですか？（複数回答可）

項目	回答数	割合
保健師	6	0.3%
助産師	47	2.7%
看護師	1690	96.9%
その他	1	0.1%



3. あなたの看護職及び教育者としての経験年数

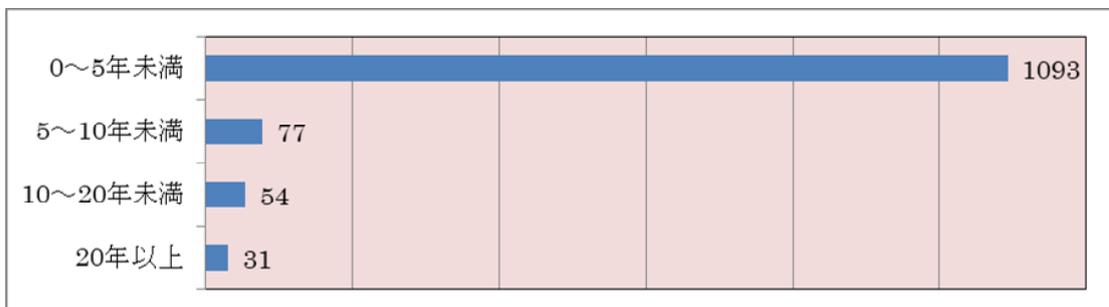
1) 看護職（保健師・助産師・看護師）としての経験年数

項目	回答数	割合
0～5年未満	435	25.2%
5～10年未満	331	19.2%
10～20年未満	503	29.2%
20年以上	456	26.4%



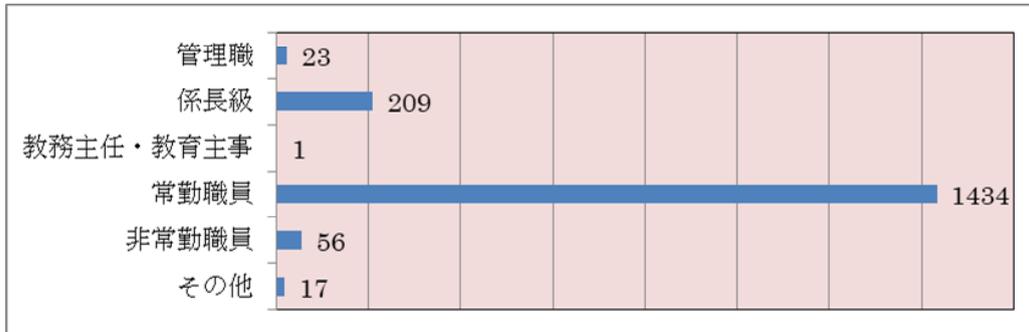
2) 看護に関する専任の教育者としての経験年数

項目	回答数	割合
0～5年未満	1093	87.1%
5～10年未満	77	6.1%
10～20年未満	54	4.3%
20年以上	31	2.5%



4. あなたの現在の所属の職位（複数回答可）

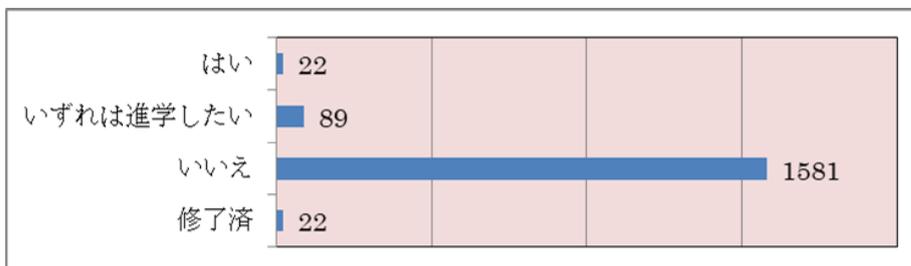
項目	回答数	割合
管理職	23	1.3%
係長級	209	12.0%
教務主任・教育主事	1	0.1%
常勤職員	1434	82.4%
非常勤職員	56	3.2%
その他	17	1.0%



5-1. 大学院の進学についてお考えですか。

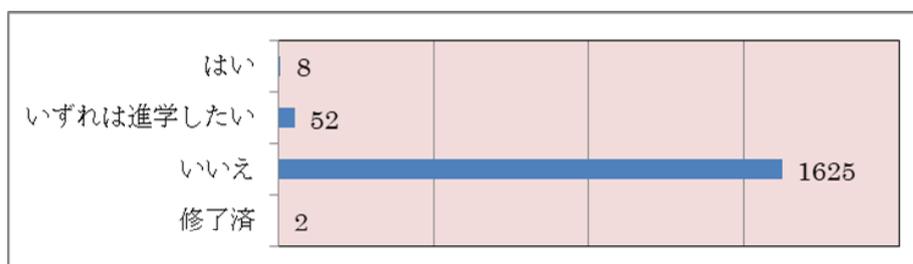
修士課程(博士課程前期)

項目	回答数	割合
はい	22	1.3%
いずれは進学したい	89	5.2%
いいえ	1581	92.2%
修了済	22	1.3%



博士課程(博士課程後期)

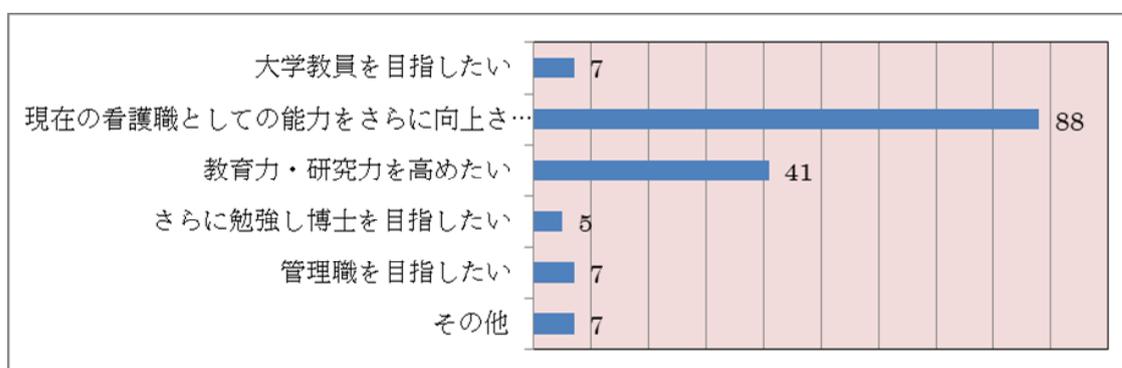
項目	回答数	割合
はい	8	0.5%
いずれは進学したい	52	3.1%
いいえ	1625	96.3%
修了済	2	0.1%



2) 上記設問で、進学希望に「はい」とご回答された方の希望理由（複数回答可）

回答数：155

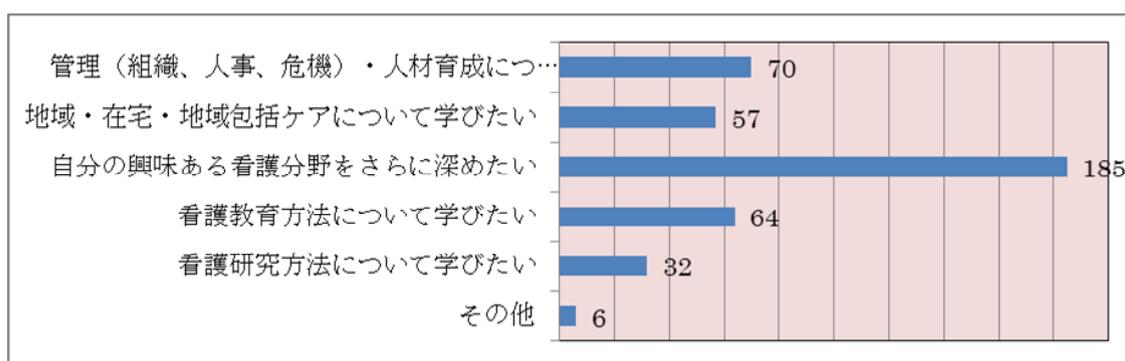
項目	回答数	割合
大学教員を目指したい	7	4.5%
現在の看護職としての能力をさらに向上させたい	88	56.8%
教育力・研究力を高めたい	41	26.5%
さらに勉強し博士を目指したい	5	3.2%
管理職を目指したい	7	4.5%
その他	7	4.5%



3) 進学した場合の学びたいこと（複数回答可）

回答数：414

項目	回答数	割合
管理（組織、人事、危機）・人材育成について学びたい	70	16.9%
地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい	57	13.8%
自分の興味ある看護分野をさらに深めたい	185	44.7%
看護教育方法について学びたい	64	15.5%
看護研究方法について学びたい	32	7.7%
その他	6	1.4%

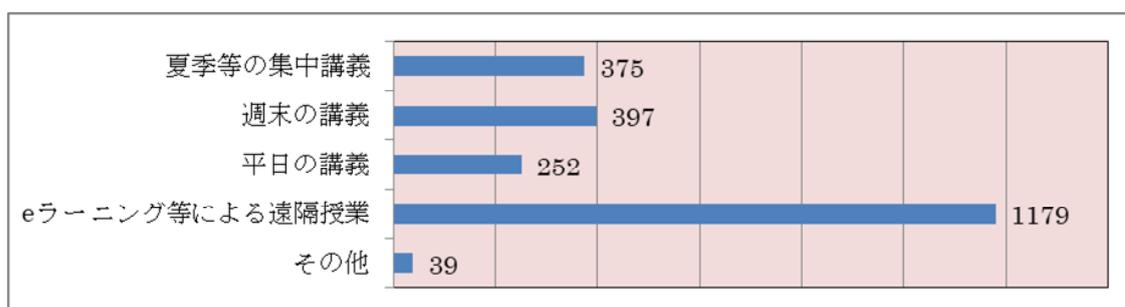


6. 大学院の授業形態

1) 開講時期および方法について（複数回答可）

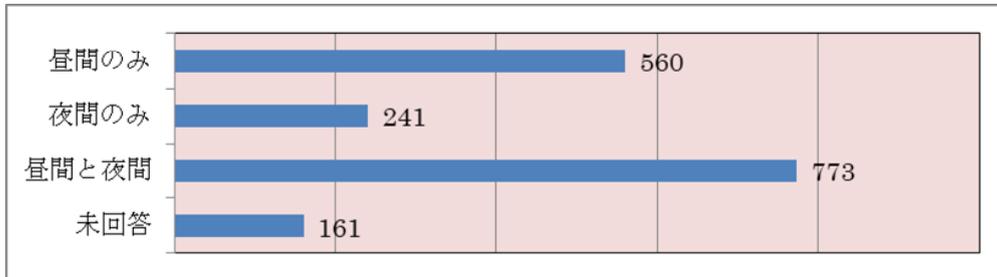
回答数：2242

項目	回答数	割合
夏季等の集中講義	375	16.7%
週末の講義	397	17.7%
平日の講義	252	11.2%
eラーニング等による遠隔授業	1179	52.6%
その他	39	1.7%



2) 時間について

項目	回答数	割合
昼間のみ	560	32.3%
夜間のみ	241	13.9%
昼間と夜間	773	44.6%
未回答	161	9.3%



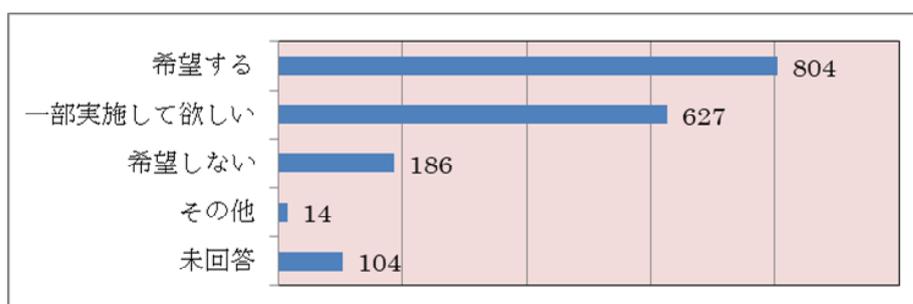
3) 曜日について

項目	回答数	割合
週のうち2~3日	857	49.4%
土日のみ	186	10.7%
平日と土日の組合せ	553	31.9%
その他	43	2.5%
未回答	96	5.5%



4) eラーニング等の遠隔授業について

項目	回答数	割合
希望する	804	46.3%
一部実施して欲しい	627	36.1%
希望しない	186	10.7%
その他	14	0.8%
未回答	104	6.0%



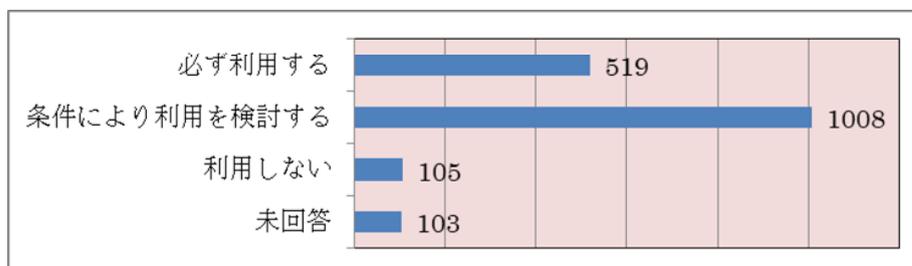
5) 入学試験について

項目	回答数	割合
推薦選抜	409	23.6%
社会人選抜	712	41.0%
一般入試	506	29.2%
その他	37	2.1%
未回答	71	4.1%



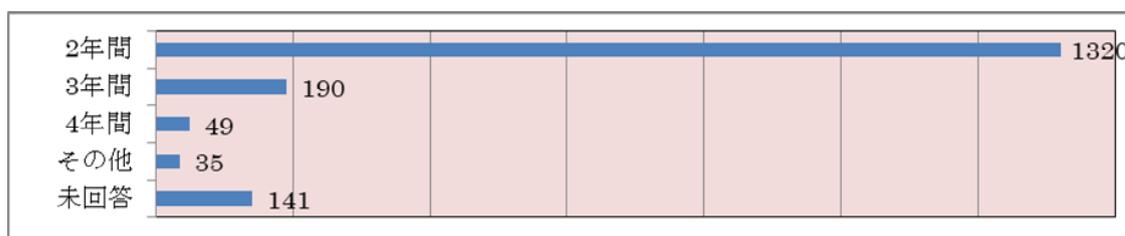
6) 授業料免除や奨学金制度について

項目	回答数	割合
必ず利用する	519	29.9%
条件により利用を検討する	1008	58.1%
利用しない	105	6.1%
未回答	103	5.9%



7) 履修期間について（修士課程の場合、原則2年ですが初めから延長を希望することができます）

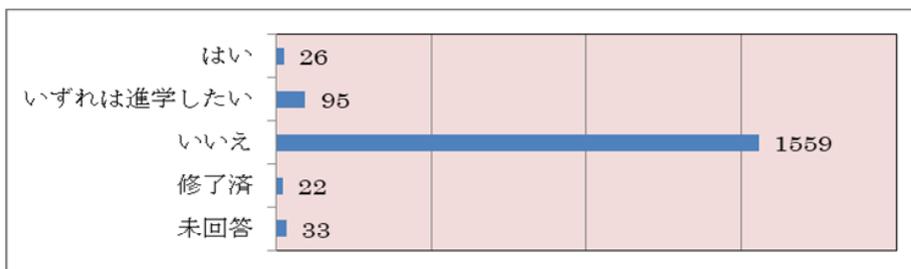
項目	回答数	割合
2年間	1320	76.1%
3年間	190	11.0%
4年間	49	2.8%
その他	35	2.0%
未回答	141	8.1%



7. 西九州大学に大学院修士課程が設置された場合

1) 進学を希望

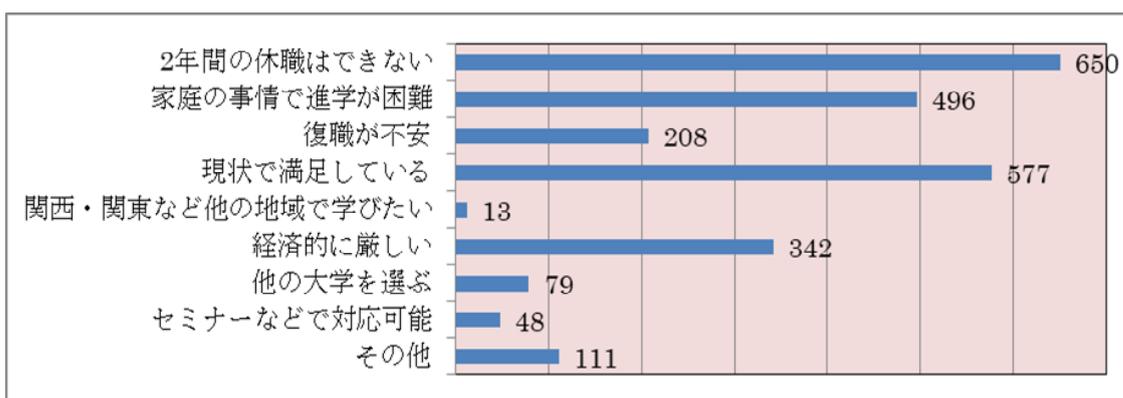
項目	回答数	割合
はい	26	1.5%
いずれは進学したい	95	5.5%
いいえ	1559	89.9%
修了済	22	1.3%
未回答	33	1.9%



2) 上記「いいえ」の選択理由（複数回答可）

回答数：2242

項目	回答数	割合
2年間の休職はできない	650	25.8%
家庭の事情で進学が困難	496	19.7%
復職が不安	208	8.2%
現状で満足している	577	22.9%
関西・関東など他の地域で学びたい	13	0.5%
経済的に厳しい	342	13.5%
他の大学を選ぶ	79	3.1%
セミナーなどで対応可能	48	1.9%
その他	111	4.4%



②もし、進学されるとしたらどのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

該当するものにチェックしてください。

管理(組織、人事、危機)・人材育成について学びたい

地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい

自分の興味ある看護分野をさらに深めたい

看護教育方法について学びたい

看護研究方法について学びたい

その他(具体的にご記入ください: _____)

6. 全員の方におたずねします。もし大学院に進学されるとしたら、どのような授業形態等であれば進学できると思われますか。該当する□にチェックしてください。また、その他については具体的に記入ください。

1) 開講時期および方法について(複数回答可)

夏季等の集中講義 週末の講義 平日の講義

eラーニング等による遠隔授業 その他(_____)

2) 時間について

昼間のみ 夜間のみ 昼間と夜間 その他(_____)

3) 曜日について

週のうち2~3日 土日のみ 平日と土日の組合せ その他(_____)

4) eラーニング等の遠隔授業について

希望する 一部実施して欲しい 希望しない その他(_____)

5) 入学試験について

推薦選抜 社会人選抜 一般入試 その他(_____)

6) 授業料免除や奨学金制度について

必ず利用する 条件により利用を検討する 利用しない

7) 履修期間について(修士課程の場合、原則2年ですが初めから延長を希望することができます)

2年間 3年間 4年間 その他(_____)

7. 西九州大学に大学院修士課程が設置された場合についておたずねします。

1) 進学を希望されますか、該当する□にチェックしてください。

修士課程(博士課程前期) はい いいえ いずれは進学したい

2) 「いいえ」の方におたずねします。「いいえ」の理由に該当するものはどれですか(複数回答可)

2年間の休職はできない 家庭の事情(育児中や介護中)で進学が困難 復職が不安

現状で満足している 関西・関東など他の地域で学びたい 経済的に厳しい

他の大学を選ぶ セミナーなどで対応可能 その他(_____)

8. 大学院に関するご意見、ご要望がございましたらご記入ください。

[_____]

ご協力ありがとうございました。

西九州大学看護学部大学院に関するニーズ調査 ③

対 象：本学看護学部学生

回答者数：171名

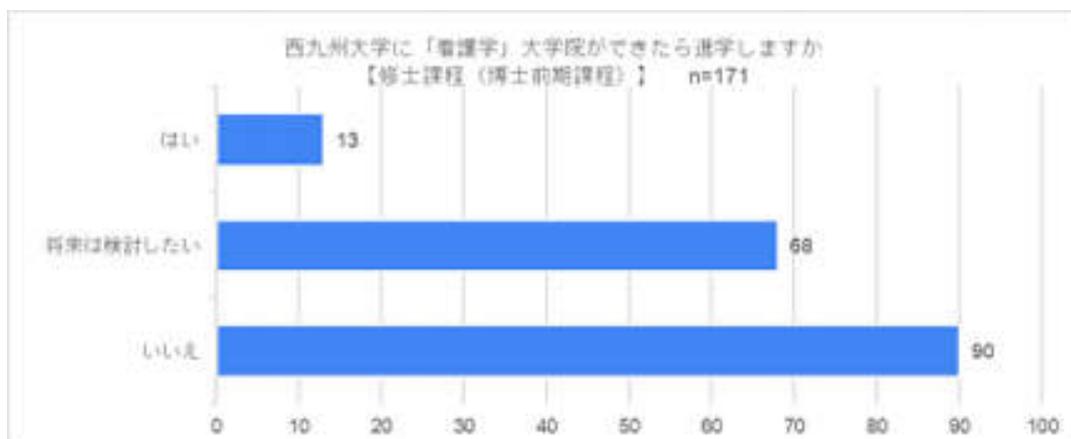
1. あなたは西九州大学看護学科の何年生ですか

項目	回答数	割合
1年生	56	32.7%
2年生	53	31.0%
3年生	62	36.3%

2-1. 西九州大学に「看護学」を研究する大学院が設置されたら、進学を希望されますか。

[修士課程（博士課程前期）]

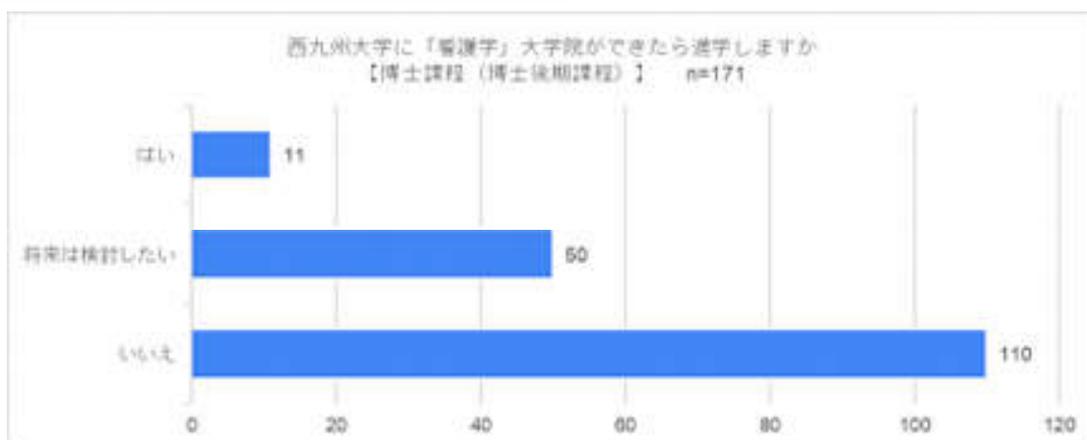
項目	回答数	割合
はい	13	7.6%
将来は検討したい	68	39.8%
いいえ	90	52.6%



2-2. 西九州大学に「看護学」を研究する大学院が設置されたら、進学を希望されますか。

[博士課程（博士課程後期）]

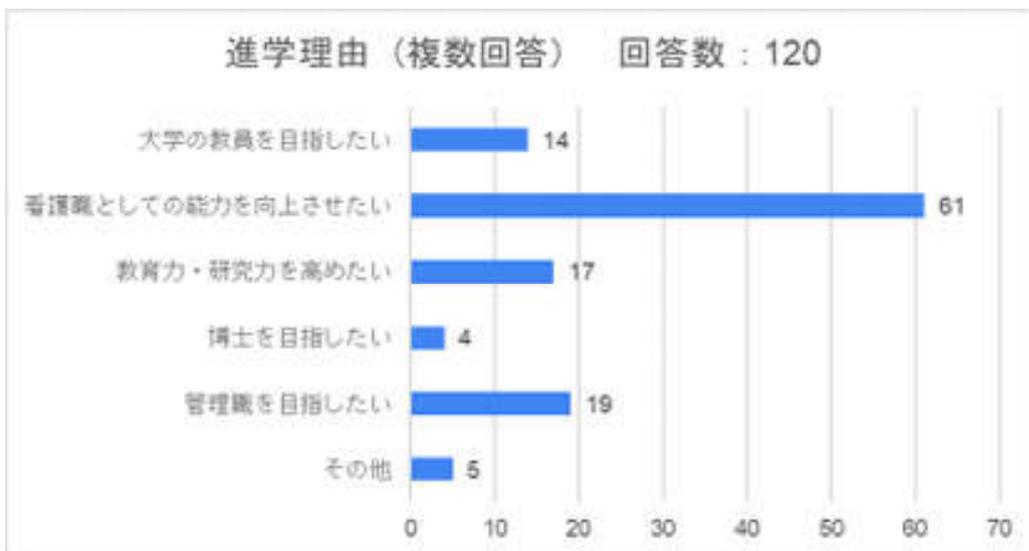
項目	回答数	割合
はい	11	6.5%
将来は検討したい	50	29.2%
いいえ	110	64.3%



3. 上記設問で、進学希望に「はい」または「将来は検討したい」と回答した者への設問

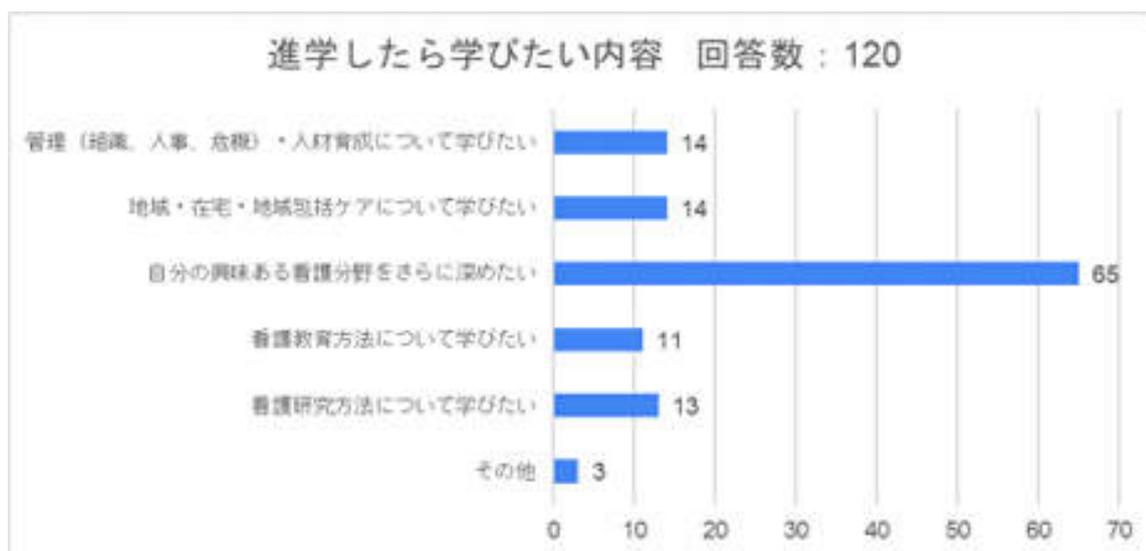
1) 西九州大学に大学院に進学を希望する理由について教えてください。(複数回答可)

項目	回答数	割合
大学教員を目指したい	14	11.7%
看護職としての能力を向上させたい	61	50.8%
教育力・研究力を高めたい	17	14.2%
博士を目指したい	4	3.3%
管理職を目指したい	19	15.8%
その他	5	4.2%



2) 進学されるとしたらどのようなことを学びたいですか。(複数回答可)

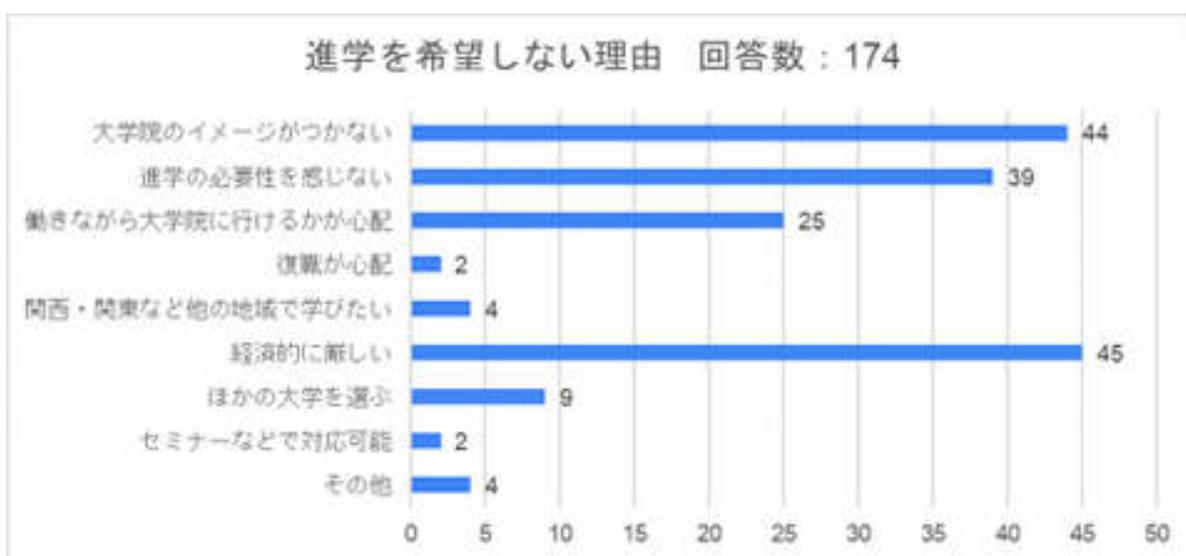
項目	回答数	割合
管理 (組織、人事、危機)・人材育成について学びたい	14	11.7%
地域・在宅・地域包括ケアについて学びたい	14	11.7%
自分の興味ある看護分野をさらに深めたい	65	54.2%
看護教育方法について学びたい	11	9.2%
看護研究方法について学びたい	13	10.7%
その他	3	2.5%



4. 上記設問で、進学希望に「いいえ」と回答した者への設問

1) 「いいえ」の理由に該当するものはどれですか。(複数回答可) (複数回答可)

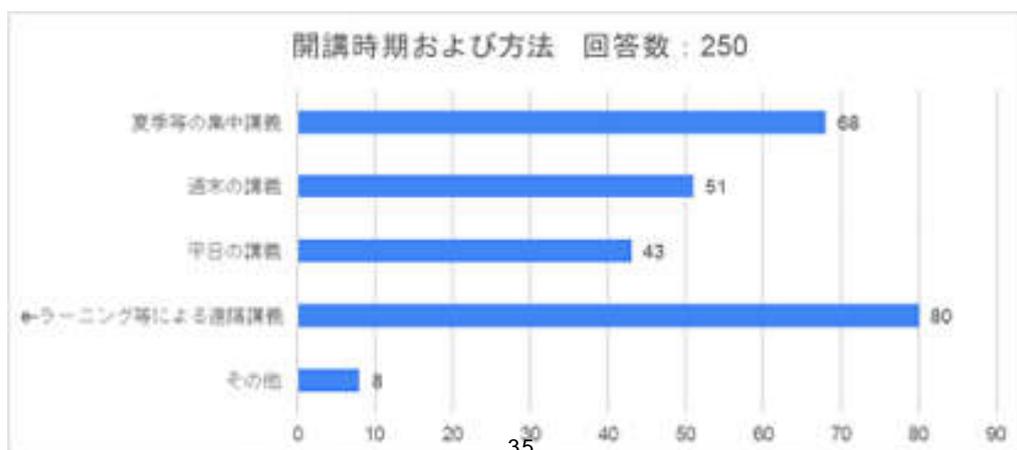
項目	回答数	割合
大学院のイメージがつかない	44	25.3%
進学の必要性を感じない	39	22.4%
働きながら大学院に行けるかが心配	25	14.4%
復職が心配	2	1.1%
関西・関東など他の地域で学びたい	4	2.3%
経済的に厳しい	45	25.9%
他の大学を選ぶ	9	5.2%
セミナーなどで対応可能	2	1.1%
その他	4	2.3%



5. もし大学院に進学されるとしたら、どのような授業形態であれば進学できると思われますか。

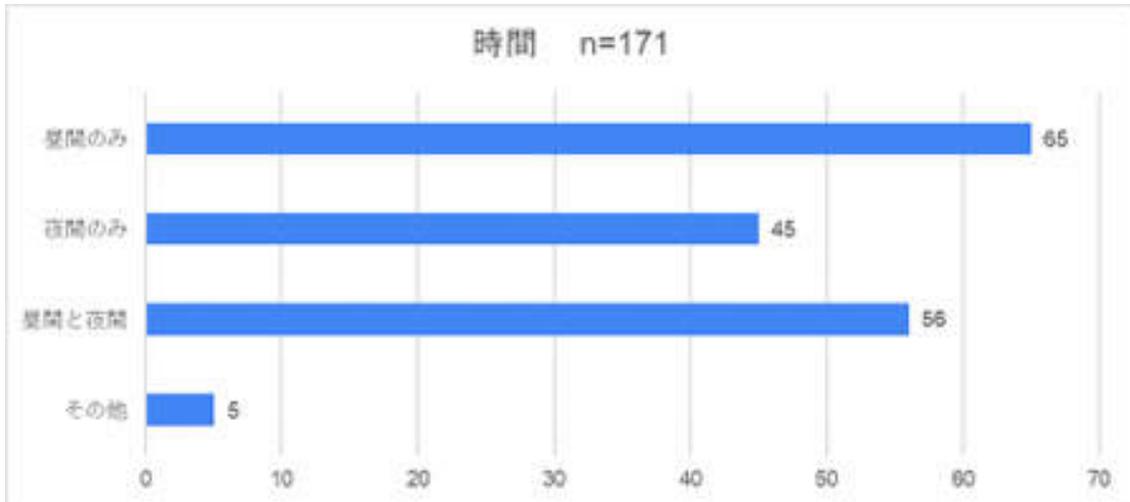
1) 開講時期および方法について (複数回答可)

項目	回答数	割合
夏季等の集中講義	68	27.2%
週末の講義	51	20.4%
平日の講義	43	17.2%
eラーニング等による遠隔授業	80	32.0%
その他	8	3.2%



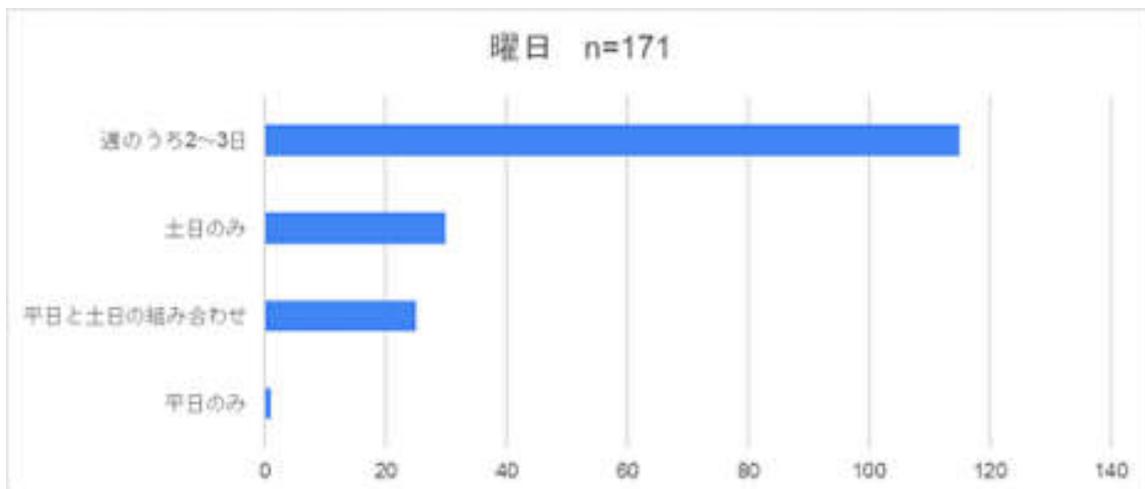
2) 時間について

項目	回答数	割合
昼間のみ	65	38.0%
夜間のみ	45	26.3%
昼間と夜間	56	32.7%
その他	5	3.0%



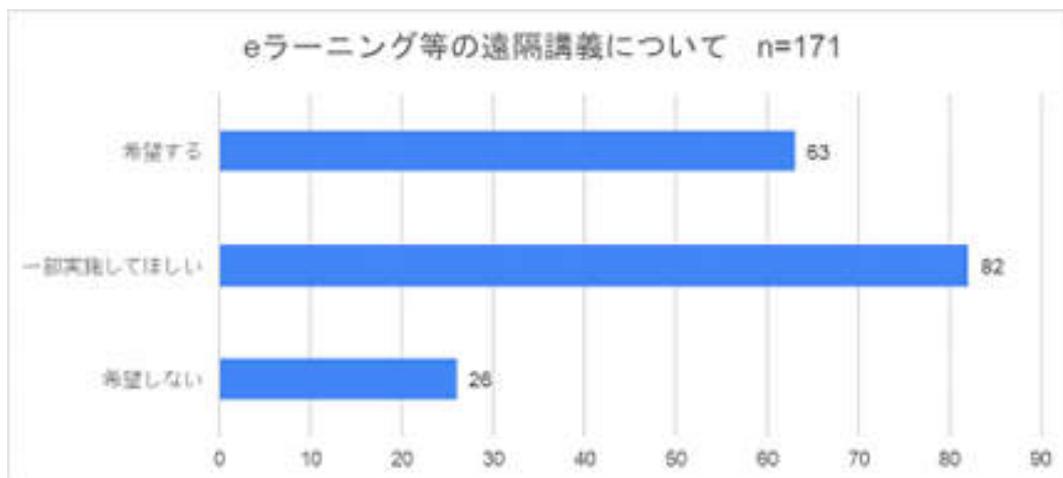
3) 曜日について

項目	回答数	割合
週のうち2~3日	115	67.3%
土日のみ	30	17.5%
平日と土日の組合せ	25	14.6%
平日のみ	1	0.6%



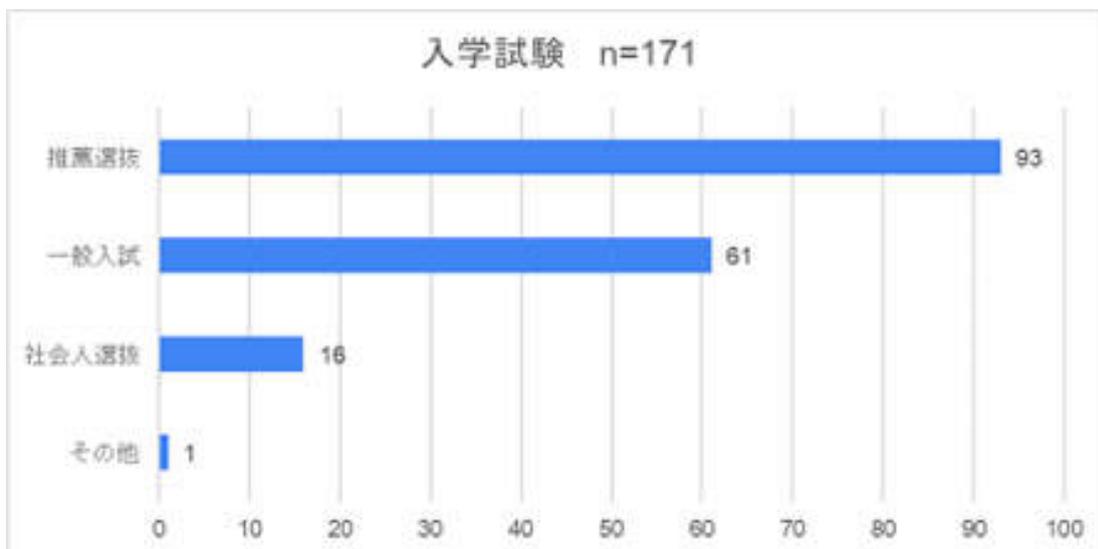
4) e-ラーニング等の遠隔講義について

項目	回答数	割合
希望する	63	36.8%
一部実施して欲しい	82	48.0%
希望しない	26	15.2%



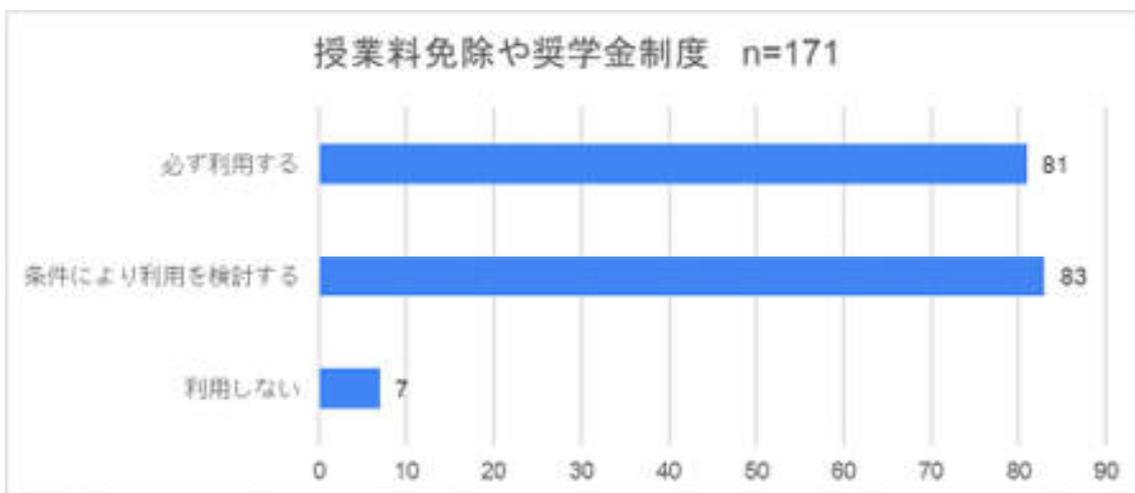
5) 入学試験について

項目	回答数	割合
推薦選抜	93	54.4%
社会人選抜	16	9.4%
一般入試	61	35.7%
その他	1	0.5%



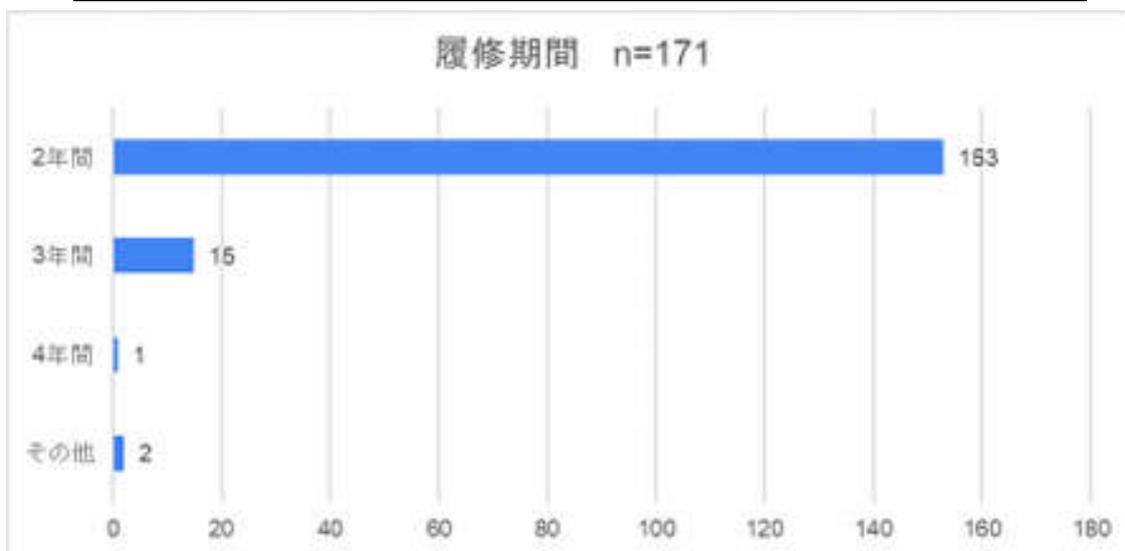
6) 授業料免除や奨学金制度について

項目	回答数	割合
必ず利用する	81	47.4%
条件により利用を検討する	83	48.5%
利用しない	7	4.1%



7) 履修期間について

項目	回答数	割合
2年間	153	89.5%
3年間	15	8.7%
4年間	1	0.6%
その他	2	1.2%



6. 自由記述（原文のまま）

- ・ 専門看護師が取得できるコースをつくってほしい。
- ・ 助産師が取得できるコースをつくってほしい。
- ・ まだ大学院まで想像がつかない。

【資料3】

近隣の同系統の大学院等の学生納付金状況

大学院名	研究科名	専攻名	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	維持運営費	委託徴収料	合計
長崎県立大学大学院	人間健康科学研究科	看護学専攻	353,000	535,800						888,800
熊本県立大学大学院	アドミニストレーション研究科	看護管理コース	414,000	535,800						949,800
聖マリア学院大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	250,000	850,000			200,000			1,300,000
福岡大学大学院	医学研究科	看護学専攻	120,000	470,000	140,000				3,000	733,000
産業医科大学大学院	医学研究科	看護学専攻	282,000	535,800						817,800
久留米大学大学院	医学研究科	看護学専攻	240,000	480,000	60,000	120,000				900,000
純真学園大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	200,000	800,000			200,000			1,200,000
帝京大学大学院	保健学研究科	看護学専攻	122,400	612,000			183,600			918,000
日本赤十字九州国際看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	300,000	800,000				200,000		1,300,000
九州看護福祉大学大学院	看護福祉学研究科	看護学専攻	200,000	700,000			100,000			1,000,000